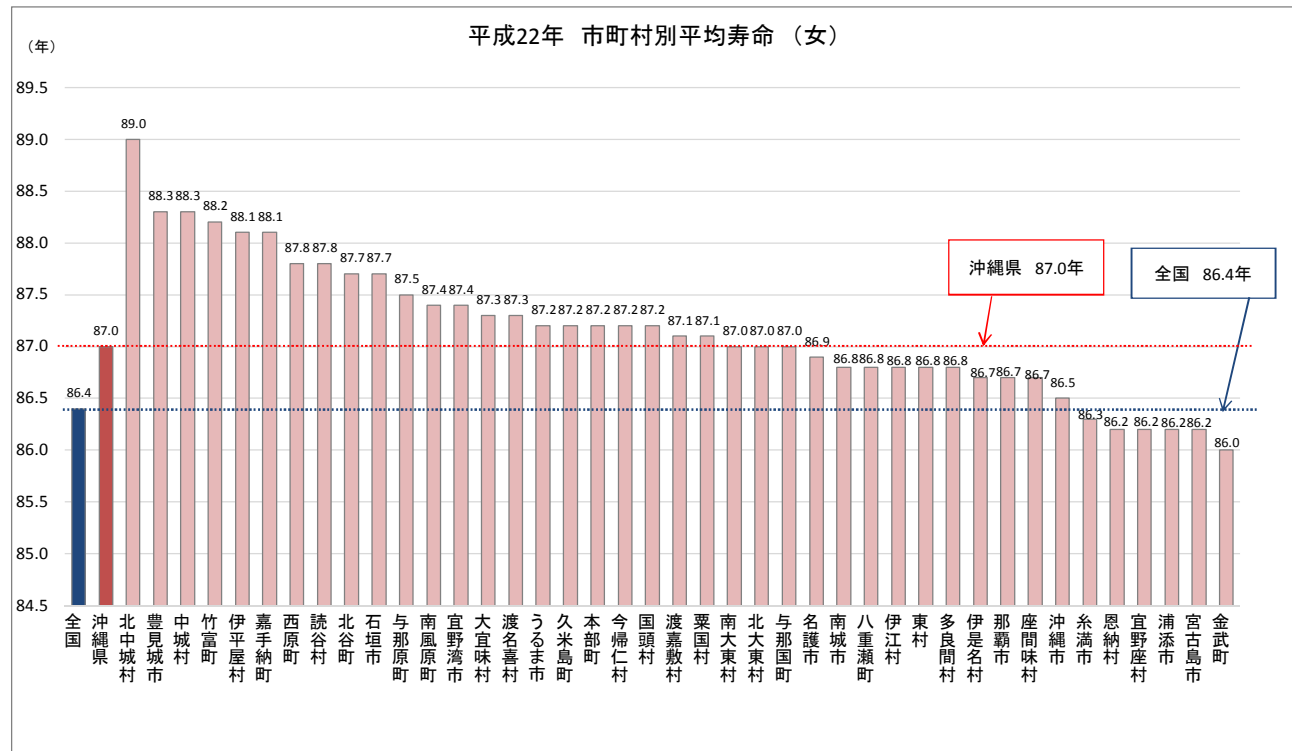
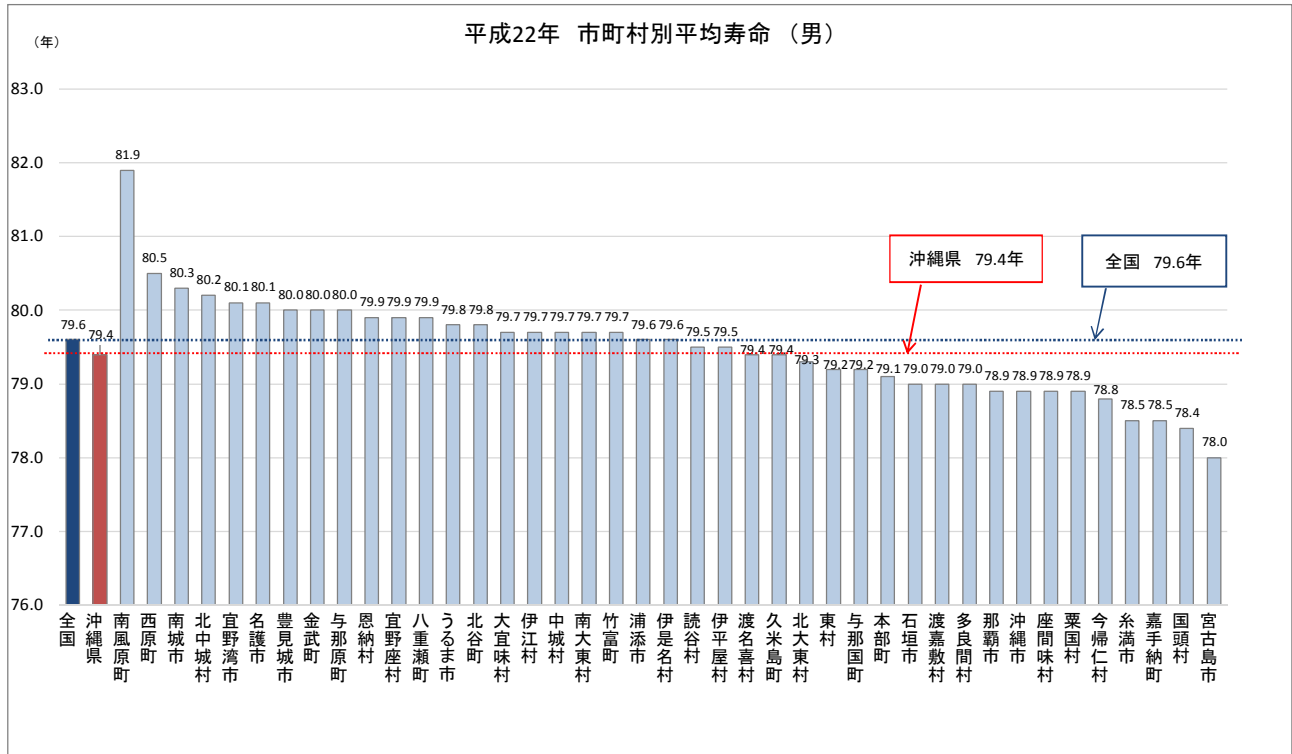


平成22年 市町村別平均寿命

平成22年の沖縄県の平均寿命（0歳の平均余命）を市町村別にみると、男では南風原町が最も高く81.9年、次いで西原町80.5年、南城市80.3年の順となっている。女では、北中城村が89.0年で最も高く、次いで豊見城市と中城村（88.3年）となっている。

男の平均寿命の最も高い南風原町と最も低い宮古島市の差は3.9年、女の最も高い北中城村と最も低い金武町の差は3.0年となっている。



平成22年 平均寿命の男女比較

男女ともに沖縄県の平均寿命より高い市町村は13市町村、低い市町村は7市町村となっている。

男女の平均寿命の差は全国で6.8年、沖縄県で7.6年となっているが、市町村別にみると、男女差が最も大きいのは、嘉手納町（9.6年）、次いで国頭村と北中城村（8.8年）となっている。一方、最も差が小さいのは、南風原町（5.5年）、次いで金武町（6.0年）、恩納村と宜野座村（6.3年）となっている。

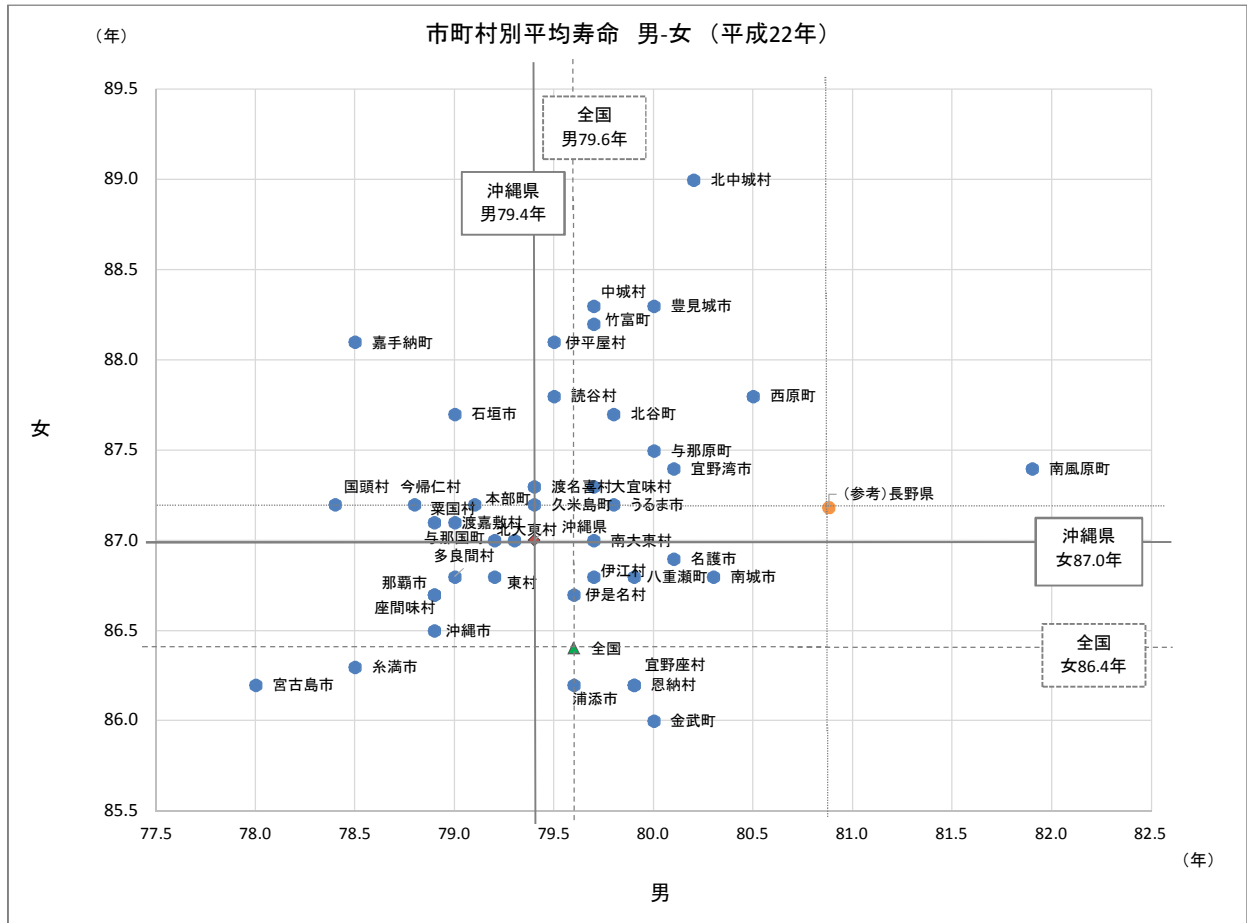


表 市町村別平均寿命の男女差

(単位:年)

順位	市町村	男女差	男	女	順位	市町村	男女差	男	女
1	嘉手納町	9.6	78.5	88.1	23	北大東村	7.7	79.3	87.0
2	国頭村	8.8	78.4	87.2	24	沖繩市	7.6	78.9	86.5
2	北中城村	8.8	80.2	89.0	24	大宜味村	7.6	79.7	87.3
4	石垣市	8.7	79.0	87.7	24	東村	7.6	79.2	86.8
5	中城村	8.6	79.7	88.3	27	与那原町	7.5	80.0	87.5
5	伊平屋村	8.6	79.5	88.1	28	うるま市	7.4	79.8	87.2
7	竹富町	8.5	79.7	88.2	29	宜野湾市	7.3	80.1	87.4
8	今帰仁村	8.4	78.8	87.2	30	西原町	7.3	80.5	87.8
9	豊見城市	8.3	80.0	88.3	30	南大東村	7.3	79.7	87.0
9	読谷村	8.3	79.5	87.8	32	伊是名村	7.1	79.6	86.7
11	宮古島市	8.2	78.0	86.2	33	伊江村	7.1	79.7	86.8
12	栗国村	8.2	78.9	87.1	34	八重瀬町	6.9	79.9	86.8
13	本部町	8.1	79.1	87.2	35	名護市	6.8	80.1	86.9
14	渡嘉敷村	8.1	79.0	87.1	36	浦添市	6.6	79.6	86.2
15	北谷町	7.9	79.8	87.7	37	南城市	6.5	80.3	86.8
16	渡名喜村	7.9	79.4	87.3	38	恩納村	6.3	79.9	86.2
17	那覇市	7.8	78.9	86.7	38	宜野座村	6.3	79.9	86.2
17	糸満市	7.8	78.5	86.3	40	金武町	6.0	80.0	86.0
17	座間味村	7.8	78.9	86.7	41	南風原町	5.5	81.9	87.4
17	久米島町	7.8	79.4	87.2					
17	多良間村	7.8	79.0	86.8		沖縄県	7.6	79.4	87.0
17	与那国町	7.8	79.2	87.0		全国	6.8	79.6	86.4

平均寿命の伸び(平成22年-平成17年)

平成17年と平成22年を比較すると、男では38市町村、女では19市町村で平均寿命が延伸したが、男では2市村、女では21市町村の平均寿命の伸び幅がマイナスとなり平均寿命が低下した。

伸び幅は男では、宜野座村が2.9年で最も大きく、次いで金武町2.4年、南風原町2.3年となっている。女では竹富町が1.8年で最も大きく、次いで宜野湾市1.4年、読谷村1.3年となっている。

沖縄県の伸びは男0.7年、女0.1年で、男女とも全国の伸びを下回っている。全国の伸びを上回った市町村は、男性が20市町村、女性が9市町村であった。

